



第30回 関西障がい学生支援担当者懇談会（KSSK）の開催について（ご案内）

「関西障がい学生支援担当者懇談会（KSSK）」は、実務者目線を基本理念に、障がい学生支援に関する様々なテーマで活発な議論、意見や情報の交換、ネットワークづくりを行うための実務担当者の懇談会です。

◆日時：2023年3月10日（金）13：00～17：00

◆会場：キャンパスプラザ京都 4階 第3講義室他
（京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町 939）

《アクセス》京都市営地下鉄烏丸線、JR各線、近鉄京都線「京都駅」から徒歩5分

◆対象：関西圏の大学・短期大学で障がい学生支援に関わっている、または関心のある教職員

◆定員：60名（申込先着順）

◆参加費：無料

◆内容：

時間	内容
13：00	開会挨拶
13：10	<p>座談会形式 「RADD（発達障害学生支援プロジェクト／筑波大学）の取り組みについて」</p> <p>《講師》 佐々木 銀河 氏 （筑波大学 人間系 准教授／RADD）</p> <p>《企画コーディネーター》 村田 淳 氏 （京都大学 学生総合支援機構 准教授／HEAP）</p> <p>《内容》 各大学等において障がい学生支援を促進する上で、他大学との連携や地域レベル又は全国的なネットワークの活用は重要なファクターとなっています。 本話題提供では、発達障がいを含め、さまざまな特性（カラー）をもった学生が豊かな学生生活を送れるようにするための研究・実践プロジェクトを実施している発達障害学生支援プロジェクト（RADD）の取り組みの現状や成果などを知る機会とします。</p>
13：40	休憩・移動
13：50	<p>分科会</p> <p>A 発達障がいのある学生の支援 定員：10名 ひとことに発達障がいといっても、細かな分類や障がい特性は個別性が高く、さらに、入学から修学、就労と大学生活のステージによって、学生の困り事やサポートに関しても、多岐にわたると考えます。 本分科会では、日ごろ抱いておられる疑問や困難事項等をシェアしたり検討したりすることで、発達障がい学生の支援について再考する機会とします。</p> <p>B 精神障がいのある学生の修学支援 定員：10名 精神障がいのある学生が直面する困難は多様であり、合理的配慮等の修学支援においても、その内容の検討や配慮の調整・提供にあたっての課題が少なくありません。特にコロナ禍におけるニーズの拡大は顕著で、合理的配慮として何をどこまで提供すべきなのかという課題は多くの大学等において共通していると思われます。 本分科会では、このようなテーマについて検討する機会とします。</p>



	<p>C 支援体制・システムのマネジメント 定員：10名</p> <p>障がい学生支援は組織的な取り組みであり、支援コーディネートだけでなく支援体制の整備や合理的配慮を提供するためのフロー等が不可欠です。また、今後は改正障害者差別解消法の動向をうけて、紛争防止・解決の仕組みについても検討する必要性が生じます。</p> <p>本分科会では、障がい学生支援に関するマネジメント全般について話し合う機会とします。</p> <p>参加者からは自大学の支援体制について、簡単にご紹介頂く予定です。可能であれば、資料(学生配付用のリーフレット等)を10部ご用意頂きますようお願いいたします。</p>
	<p>D コーディネート基礎編 ー合理的配慮の考え方ー 定員：20名</p> <p style="text-align: center;">＜レクチャー形式＞</p> <p>コロナ禍の中で授業形態や障がい学生のニーズが様々なに変化し、支援担当者として判断に迷う方も多かったのではないのでしょうか。</p> <p>本分科会では、初任者を対象として、Q&A方式にて合理的配慮の考え方のポイントを整理します。また、参加者同士の交流する時間を設け、横のつながりをつくる機会とします。</p>
	<p>E コーディネート応用編 ー合理的配慮の妥当性と根拠ー 定員：10名</p> <p>合理的配慮は、その必要性和妥当性について客観的根拠をもとに検討することとなりますが、どのような根拠資料が必要になるかは、当該学生の障がい状況と支援内容によって異なります。</p> <p>当該学生が他の学生との比較において同等の機会の提供を受けるためにどのような点に留意すべきか、意見交換・情報交換を行う機会とします。</p>
16:20	休憩・移動
16:30	まとめ
17:00	閉会

◆申込注意：以下、必ずご確認ください。

＜分科会の参加について＞

分科会A～Eにおける希望順位を第3希望までご選択ください。先着順となるためご希望に沿えない可能性もありますのであらかじめご了承ください。

【注1】新型コロナウイルス感染症の影響により、開催形態が変更になる場合があります。その際は別途ご連絡いたします。

【注2】分科会で取り扱うトピックスとして反映させていただくため、自大学で困っている事や課題、取り上げてほしいトピックス等を参加申込フォームにご記入ください。

(例) 予算的に障がい学生が求めている事に対応するのが難しい状態を、納得してもらえないのではないかと心配。

【注3】事前に所属大学の学生数、支援体制の有無(有の場合は課員の人数)を併記してください。

【注4】ご参加いただく分科会は、開催7日前頃にお送りするメールに記載し、定員を超える場合は、先着の方を優先して配置いたします。なお、分科会A～Eへのご参加に際しまして、個別アンケートにご協力いただく場合がございます。

◆申込方法：下記URLの参加申込ページよりお申込みください。

<http://www.consortium.or.jp/project/dss/kssk>

※参加申込フォームが送信できない場合は別途メールにて対応しますので、下記の事務局(お問い合わせ先)までその旨をご連絡ください。

※頂戴した個人情報にはKSSKの運営にかかわる目的にのみ使用させていただきます。なお、分科会運営の為、幹事会構成員から別途ご連絡を差し上げる場合がありますことをご了承ください。

◆申込期間：2023年1月24日(火)～2023年2月24日(金)まで（定員になり次第、締め切ります）

【主催】公益財団法人 大学コンソーシアム京都

【企画・運営】関西障がい学生支援担当者懇談会幹事会

【協力】筑波大学 RADD（発達障害学生支援プロジェクト）

京都大学 HEAP（高等教育アクセシビリティプラットフォーム）

以 上

【お問い合わせ先】

公益財団法人大学コンソーシアム京都 学生支援事業部 担当：松原・石橋

（事務開室時間）火曜日～土曜日 9：00～17：00

TEL：075-353-9189 FAX：075-353-9101 E-mail：gk-ml@consortium.or.jp